

個別事業(取組)評価				
事業No.	34	施策の柱への位置付け	柱⑤ 放課後改革	
事業名称	放課後子どもプラン推進事業		担当課	生涯学習課
			当初予算額(千円)	399,968
			補正後予算額(千円)	371,317
			決算額(千円)	345,891

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 保護者が安心して働きながら子育てができるように、子どもたちが放課後に安全に過ごせる場所を全ての小学校区に設置する必要がある。(実施校率83%/H23.4.1現在) ◆ 子どもたちの学習習慣の定着に向けて、家庭に代わって支援する場が必要である。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 補助事業や全国調査により把握している。
		【要因】 ◆ 学校・地域・家庭の連携により子どもたちを見守り育てる地域社会づくりが十分進んでいない。 ◆ 地域において、施設や指導員等の確保が難しい。 ◆ 共働き世帯が多く、子どもたちの放課後の生活や学習を家庭で十分にみることができない。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 市町村・学校への訪問、ヒアリングを通じて、要因を特定している。
②	目標(Outcome)	◆ 市町村に補助金を交付することで、放課後の学びの場(児童クラブ・子ども教室)を設置拡大し、宿題や読書、自主学習等の学習活動を推進する。 【小学校】実施校率 90%(H22:74%) 【中学校】実施校率 45%(H22:36%) ◆ 支援の必要な子どもに対する利用料の減免を実施する市町村を増やす。 16市町村 (H22:8市町村) ◆ 指導員等の人材不足を解消する。 人材バンクへの登録 280名(H22:250名) " マッチング件数 60件(H22:43件)	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 毎年度の伸び率や地域の実情等を考慮した具体的な数値目標を設定していた。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ◆ 実施校率(H24.4.1現在) 【小学校】90% 【中学校】45% ◆ 利用料を減免する市町村 16市町村 ◆ 人材バンクへの登録 個人300名、団体5 " マッチング件数 104件
		【検証(比較)方法】 市町村への調査や補助金実績報告書等により把握	
③	実施内容(Input・Output)	① 放課後の学びの場の設置拡大と活動内容の充実を図る。 ・ 運営補助 【小学校】放課後子ども教室113箇所、放課後児童クラブ62箇所 計175箇所 【中学校】放課後学習室41箇所 ・ 新規開設への支援(初年度のみ市町村負担を軽減) 【小学校】18箇所 【中学校】8箇所 ・ 学習活動への支援(学習環境の整備、図書や教材の購入、指導員の配置) ← 県単「学び場応援事業」 【小学校】164箇所 【中学校】41箇所	オ 計画通り実施されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/> ① 放課後子どもプラン推進事業の実施状況 ・ 運営補助(H24.4.1現在) 【小学校】放課後子ども教室102箇所、放課後児童クラブ64箇所 計164箇所 【中学校】放課後学習室42箇所 ・ 新規開設の促進 【小学校】8箇所 【中学校】6箇所 ・ 学習活動への支援 【小学校】148箇所 【中学校】39箇所 ② 放課後子どもプラン利用促進事業 実施箇所: 児童クラブ31箇所 ③ 「放課後学び場人材バンク」にコーディネーターを2名配置 指導員等の発掘と市町村への情報提供を積極的に実施 ④ 活動内容の充実と指導員の資質向上 ・ 研修会の内容を充実 安全(防災学習)研修3回、障害児理解(発達障害)研修3回 学習アドバイザー研修2回、学校支援地域本部との合同研修2回 ・ 市町村/現場訪問 延べ90回 未実施校への依頼/調査、要綱及び運営基準の周知徹底、実施計画ヒアリング、小中国語/数学シート配布、現状確認等
		② 就学援助児童等を対象にした保護者利用料を減免した場合の助成を行う。 対象: 57箇所 ③ 「放課後学び場人材バンク」を設置する。 ・ コーディネーターを2名配置 ・ 指導員等の発掘と市町村への情報提供 ④ 活動内容の充実と指導員の資質向上を図る。 ・ 指導員等研修会の開催 ・ 各種会議を活用した啓発や現場訪問の実施 ・ 児童クラブ設置運営基準の周知の徹底	

総合評価と今後の方向	目標達成度 <b>B</b> 「No」を選択した項目 <b>オ</b>	【今後の方向】 ◆ 重点プランの施策体系の一つ「つなぐ」において、 ①「学校や地域と連携し、より安全で健やかに、地域で子どもを育てる風土ができること、②『学びの場』において、より学校との連携が進み、子どもたちが学ぶ力を身につけることができる」ことを到達目標とした取組を進める。 ◆ 放課後の学びの場のさらなる質の充実に向けて、 ①宿題にとどまらない多様な学習を行うための人材の配置 ②教材等の購入 ③開催日数の増加 を目的に、学校との連携を進めつつ、一律ではない、地域や子どもたち一人ひとりのニーズに沿った幅の広い学習への支援を行う。
	【総合評価】 ◆ すべての子どもたちに健やかで豊かな放課後を保障するために、県内すべての小学校を対象として子どもの居場所づくりに取り組み、小規模校や統廃合の関係で調整を要する学校、地域の事情で実施が困難な学校を除くと、ほぼ全ての小学校区において事業が実施され、宿題等の学習ができる環境が整った。 ◆ 放課後の居場所・学びの場の質の向上を目指して、開催日数の増加、学習環境の向上、直面する課題に即した研修会などの人材育成の充実、関係者間での情報共有など、きめ細やかな市町村支援を行うことができた。	